

「相談事業担当者・相談事業管理職向け研修」

2023年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
下記のとおり、報告いたします。

報告日 2024年 1月 31日

1 施設概要

施設名	川崎市男女共同参画センター		
代表者名・職名	館長 納米恵美子		
住所	〒213-0003 川崎市高津区溝口2丁目20番1号		
	電話 044-813-0808	FAX 044-813-0864	
担当者名・職名	主担当：脇本靖子、瀬戸智子		
	E-mail：y-wakimoto@kshowa.or.jp		

2 事業の概要

事業名	2023年度「相談事業担当者・相談事業管理職向け研修」		
趣旨、ねらい	<p>新型コロナウイルス感染症がもたらした経済や生活への影響で、女性の貧困問題などが悪化し、DV、虐待、性犯罪などの問題が浮き彫りになるなか、2022年5月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が制定され、2024年4月1日より全面施行される。「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律」は、一部の規定を除き2024年4月1日から施行されることとなっている。これら法制度の改正により、人権が尊重され、女性が安心して、かつ、自立して暮らせる社会の実現を関係機関及び民間団体の協働により切れ目なく実施されることが求められている。</p> <p>今回は、こうした実情を踏まえて、男女共同参画センターや女性センターの相談事業の課題と考えられるテーマを取り上げ、知識の更新や情報収集、担当者間のつながりを通して複合的な課題を抱える相談者に寄り添う支援のあり方を検討する。また、多様な視点から相談事業をデザインするための力を養い、相談事業をより一層充実させていくことを目的に研修を実施する。</p>		
対象者と定員	定員：20人程度（最大30人） ・男女共同参画センターの相談事業担当職員、相談事業管理職 ・男女共同参画センターの相談員 ・自治体の女性相談担当職員、女性相談員		
実施日	2024年1月10日（水）9：30～18：00		
プログラム概要	時間	内容	担当/講師
	9：30～10：00	開会のあいさつ オリエンテーションと自己紹介	納米 恵美子 （全国女性会館協議会代表理事、川崎市男女共同参画センター館長）

	10:00~11:50	「DV 問題が被害者に与える影響と、DV 被害者への医療的な支援の実際」	野末 浩之さん (精神科医師、公益財団法人横浜市勤労者福祉協会うしおだ診療所)
	12:50~14:20	「DV 加害者プログラムの実践と男性被害者支援」	古賀 絵子さん (公認心理師、臨床心理士、特定非営利活動法人 RRP 研究会、原宿カウンセリングセンター [HCC] カウンセラー)
	14:30~15:10	複合的な課題を抱える相談者への切れ目のない支援に必要な連携の実践とこれからを考える 「『断らない相談支援』がつくる支援の連携」	武藤 清哉さん (座間市福祉部地域福祉課)
	15:20~16:20	「男女共同参画センター等での女性相談と支援のあり方」	景山 ゆみ子さん (公認心理師、臨床心理士、元名古屋市男女平等推進センター相談担当主幹、男女共同参画センター相談スーパーバイザー)
	16:20~17:20	「DV 被害者支援の実践」(グループワーク)	
	17:20~17:25	閉会のあいさつ	柴田 美代子さん (全国女性会館協議会常任理事)
	17:30~18:00	交流会	
実参加者数	22 人 (スタッフ 4 名を含む)		
アンケート結果の概要	アンケートの集計結果は別添のとおり		
担当者所感	<p>今回の研修では、実施方法について、対面にするかオンラインか、日程は 1 日間で行うか 2 日間か、どのようなテーマなら参加したいと思ってもらえるかなど、悩みながらの企画となりました。その中で主軸に据えたのは、「自館の課題と各地域の男女共同参画センター等の課題には共通点があるだろう」という点でした。軸が決まっからは迷いがなくなり、私たちが日ごろの業務で難しさを感じる点や実践的な内容に絞って、様々な現場で相談支援に携わる講師から支援の実際について学ぶ機会としました。結果、参加者アンケートでは、「今求められている内容が網羅されていて良かった」「実践的で内容が盛りだくさんで良かった」「久しぶりのリアル開催で、集中して学ぶことができました」などの感想を寄せていただき安堵しています。</p> <p>今回の研修にあたっては、企画から広報まで、全国女性会館協議会の柴田様をはじめ、理事の皆様にご意見をいただくなど、お力添えをいただき感謝しています。</p> <p>研修会には、岩手県から大阪まで幅広い地域からご参加いただきました。オンライン研修では得られにくい参加者同士の横の繋がりを広げることができたのもこの研修の大きな収穫だったと思います。また、研修を快く引き受けくださった講師の皆様とのご縁も今後につなげられたら嬉しく思います。参加者アンケートでは、「オンラインと集合研修を組み合わせた研修がよい」というご要望やその他ご意見をいただきました。これらのご意見・ご要望は、今後の研修会等の開催に役立てていきたいです。</p> <p>2024 年 4 月から施行される「困難女性支援法」や「改正 DV 防止法」を踏まえ、相談室としても、今後様々な変化に対応できるよう力量をつけ、相談事業を一層充実させていきたいと今回の研修を通して強く感じました。</p>		